

産婦人科・周産期母子医療センター（母体・胎児部門）

1. 概要

周産期関係では2014年4月よりの総合周産期センターが開設された。常時緊急時には30分以内の帝王切開を可能にするため当直2人体制を施行し、センター開設以降15例の超緊急帝王切開が行われた。うち12例で30分以内の娩出が可能であった。バースセンター分娩の受け入れも開始し12月に1例目が無事出産に至った。母体・産褥搬送は全例応需を原則とし前年より増加した。

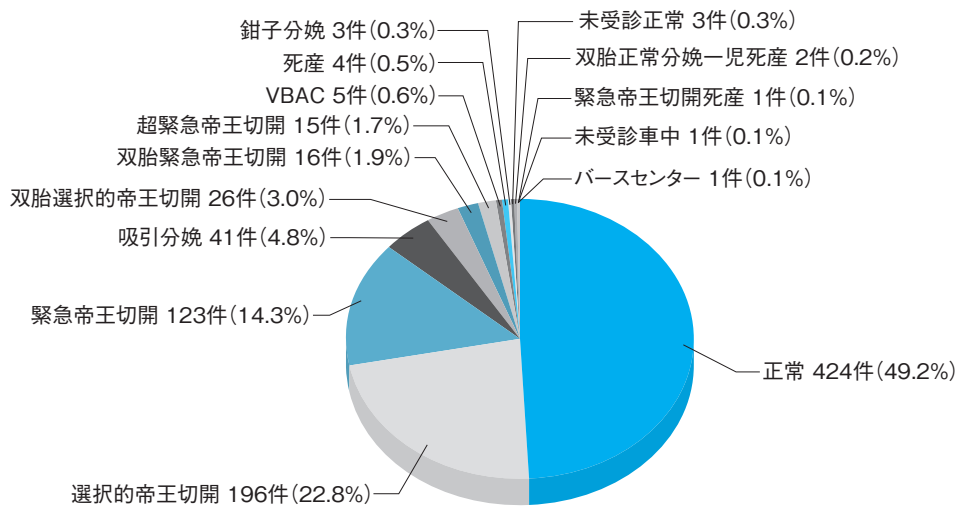
婦人科悪性腫瘍の治療では患者の状態や進行期を考慮した上で、手術、化学療法、放射線療法を組み合わせることであり、成績は全国的にも高いレベルを示している。腹腔鏡下の手術へのシフトが著しく保険適応となった子宮体癌はもとより、子宮頸癌の腹腔鏡下手術（保険適応外）、ロボット手術も導入した。

子宮筋腫をはじめとする良性疾患に対しても腹腔鏡下手術が主流となり、低侵襲で入院期間も短縮された。

（第二部長 岡田 真由美）

●分娩統計

総件数：861件



分娩統計(2014.1-12) (件)

正常	424
選択的帝王切開	196
緊急帝王切開	123
緊急帝王切開死産	1
超緊急帝王切開	15
鉗子分娩	3
吸引分娩	41
VBAC	5
未受診正常	3
未受診車中	1
死産	4
双胎選択的帝王切開	26
双胎緊急帝王切開	16
双胎正常分娩一児死産	2
パースセンター	1
計	861
中期中絶	16
中期流産	3
中期中絶帝王切開	1
双胎中期中絶	1
中期中絶緊急帝王切開	1
計	22
母体搬送	211

産婦人科悪性腫瘍治療症例数(2014.1-12) (件)

◎子宮頸部CIN2	計15
円錐切除	13
腹腔鏡下子宮全摘術	2
◎子宮頸部CIN3	計65
円錐切除	53
レーザー蒸散	1
腔式子宮全摘	4
複式単純子宮全摘	1
腹腔鏡下子宮全摘術	6
◎子宮頸癌	計38
①子宮頸癌腹腔鏡下手術	11
1A	1
1B1	9
1B2	1
②子宮頸癌開腹手術例	10
1A	2
1B1	7
1B2	1
③子宮頸癌ロボット支援手術	2
1A	1
1B1	1
⑤子宮頸癌化学放射線療法(放射線科と共同治療)	8
2A	1
2B	6
4B	1
⑥子宮頸癌放射線療法(主に放射線科)	7
1B1	1
2B	3
3A	2
4A	1
◎子宮体癌(肉腫含む)	計54
①手術	51
1A	31
1B	9
2	4
3A	2
3C	3
4B	2

うち腹腔鏡手術	33
開腹手術	16
ロボット支援手術	2
②子宮体癌放射線治療	3
1A	2
1B	1
◎子宮内膜増殖症	計3
①手術	3
うち腹腔鏡手術	1
◎卵巣境界悪性腫瘍	計7
1A	2
1C	5
◎卵巣悪性腫瘍	計21
1A	3
1B	2
1C	5
3A	2
3B	3
3C	5
4	1
◎卵管癌	計1
◎転移性卵巣癌	計3
◎腔癌化学放射線治療	計1
◎化学療法	
子宮頸癌	33人 のべ111コース
子宮体癌	31人 のべ133コース
卵巣癌	49人 のべ293コース
絨毛性疾患	3人 のべ13コース
その他	4人 のべ18コース
計	120人に対して、のべ468コースを 施行した。

産婦人科当直帯救急患者数(夜間休日)(2014.1-12) (件)

経膈分娩	342
緊急帝王切開	86
その他緊急手術	44

救急外来患者数再診

8:30-17:00 (休日のみ)	143
17:00-0:00	248
0:00-8:30	103
計	494

救急外来患者数初診

(カッコ内は本来他の施設で診察すべき患者数)

8:30-17:00 (休日のみ)	69(8)
17:00-0:00	170(13)
0:00-8:30	96(18)
計	335(39)

救急外来患者総数 829

●手術件数

総件数：1,156件

